やさいレポート(令和6年12月号)



はくさい



発行日:令和6年12月6日

1. 卸売価格の動向

○64 円/kg (12月3日)

▶ 平年比:164%○12月の価格見通し

前半:高値水準で推移

後半:平年並みで推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○234 円/kg

(11月8日全国平均)

▶ 前月比:85%、平年比:146%

▶ 東京:157円(1/4玉)

▶ 大阪:157円(1/4玉)

○特売店舗数/調査店舗数

▶ 東京: 7/20(前月 5/20)▶ 大阪: 4/10(前月 4/10)

(機構調べ)

3. 家計消費動向

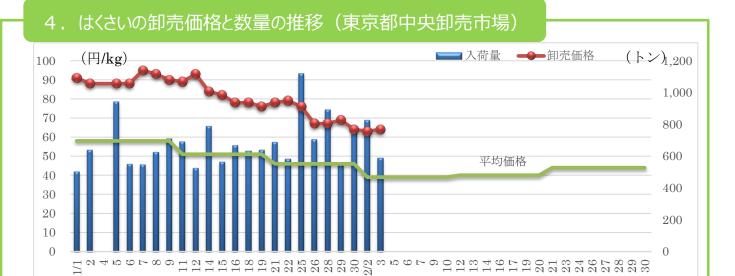
○278g/人 (10月全国平均)

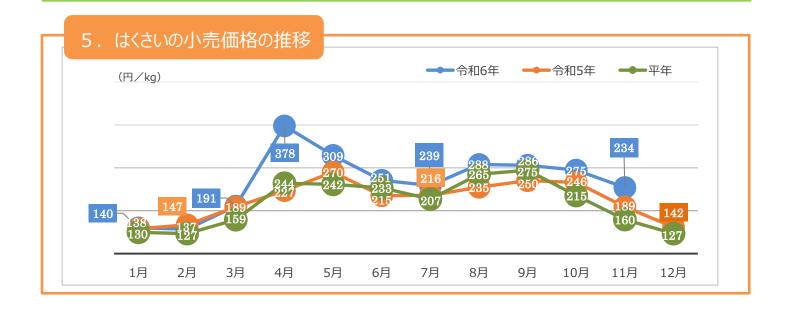
▶ 前月比:234%▶ 前年同月比:87%

○2,761g/人 (2023年年間)

▶ 前年比:96%

(総務省統計局家計調査)





6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
茨城県常総ひかり (11/18)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
愛知県豊橋 (11/14)	減少	不良	遅い	
三重県四日市、菰野 (11/27)	減少	平年並み	遅い	遅い
兵庫県淡路島 (11/8)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
和歌山県紀の川西部 (11/22)	減少	平年並み	平年並み	平年並み
大分県日田市 (11/28)	減少	身が良	遅い	遅い



(機構調べ)



7. 向ごう1ヶ月の気象情報(12/07~01/03)

			週別の天候				
12/7~ 12/13	北日本日本海側では、冬型の気圧配置が強まりやすいため、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多いでしょう。						
	東日本日本海側	[日本日本海側では、冬型の気圧配置が強まりやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。					
	西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。						
	北・東・西日本太平洋側では、低気圧の影響を受けにくいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。						
	沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。						
12/14~ 12/20	北日本日本海側では、冬型の気圧配置が強まりやすいため、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多いでしょう。						
	東日本日本海側では、冬型の気圧配置が強まりやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。						
	北日本太平洋側では、平年と同様に贈れの日が多いでしょう。						
	西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。						
	東・西日本太平洋側では、低気圧の影響を受けにくいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。						
	東・西日本太子井崎では、記文正の影響を支がたくいため、千年に比べ頃れの日か少いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。						
12/21~1/3	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。						
	東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。						
	北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。						
	沖縄・奄美では	、平年と同様に曇りや雨の日が多いで					
		平均気温 (1か月)	降水量(1か月)	日照時間(1か月)			
北日本	日本海側	低50 並30 高20%	少20 並40 多40%	少40 並40 多20%			
			平年並か多い見込み	平年並か少ない見込み			
	太平洋側	低い見込み	少30 並30 多40%	少20 並40 多40%			
			ほぼ平年並の見込み	平年並か多い見込み			
東日本	日本海側	低60 並30 高10% 低い 見込み	少20 並30 多50%	少50 並30 多20%			
			多い見込み	少ない見込み			
	太平洋側		少50 並30 多20%	少20 並30 多50%			
			少ない見込み	多い見込み			
西日本	日本海側	低60 並30 高10% 低い見込み	少40 並30 多30%	少30 並40 多30%			
	H. 1. 779 (K)		ほぼ平年並の見込み	ほぼ平年並の見込み			
	太平洋側		少50 並30 多20%	少20 並30 多50%			
			少ない見込み	多い 見込み			

8. 輸入動向(はくさい) 500 (トン) ○93 t (10 月輸入量) 400 ▶ 前年同月比:79% 300 ☑令和6年 ○輸入先国ベスト3 200 ■令和5年 全量中国からの輸入 ■平年 100 (財務省貿易統計) 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

9. 一口灯

11月は、茨城産の本格入荷がスタートした。夏場の定植期の高温により生育不良や高温障害が見られるなか気温の低下で需要は堅調で高値基調で推移した。

12月は、中生品種に切り替わった茨城産の安定入荷が見込まれるが需要増と野菜全体の品薄感から前半は平年を上回り、後半は平年がみで推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探: https://vegetan.alic.go.jp/

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793